

JAPAN O'pen BIC CUP

- 主 催 : 日本オープンビックラス協会 (Japan O'pen BIC Class Association)
 後 援 : 兵庫県セーリング連盟、神戸新聞社、NPO 法人兵庫県の水域の秩序ある利用を進める会
 協 賛 : 株式会社ウインドワード
 開催場所 : 兵庫県西宮市 (ウインドワードオーシャンクラブ)

共通帆走指示書

1. 適用規則

- 1.1 本大会には、「セーリング競技規則 (RRS2013-2016)」に定義された規則を適用する。ただし下記で修正/追加したものは除く。
 1.2 本大会は「O'pen BIC Standard Event Rules 2012 (O'pen BIC 標準大会規則2012)」に従い、「ISAF Introductory Rules For Racing (ISAF入門レースルール)」に定義された規則を適用する。ただし、レース公示および本帆走指示書で修正/追加するものは除く。
 - ペナルティー・システムとして帆走指示書第14項を適用する。
 1.3 本帆走指示書はすべてのシリーズに共通とする。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、大会本部に設置された公式掲示板に掲示し、かつ艇長会議で口頭にて説明する。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日のスタート予定時刻の60分前までに掲示し、かつ艇長会議で口頭にて説明する。

4. チャーター艇

- 4.1 チャーター艇が準備される。競技者は、次のことを除き、どのような方法であっても、改造してはならず、また改造するような原因を作ってはならない。
 (a) 糸を含む風向計を艇のどこにでも結びつけたり、テープで貼り付けたりしてもよい。
 (b) 艇体、センターボードおよびラダーを水のみで洗ってよい。
 (c) 接着テープを喫水線より上のどこにでも用いてよい。
 (d) クラス規則に従っている限り、調整できるように作られた全ての艀装品または装備を調整してよい。
 4.2 帆走のために艇と共に準備された全ての装備は、海上にいる間、艇内になければならない。
 4.3 上記の指示に1つでも従わない場合のペナルティーは、指示に違反して帆走した全てのレースで失格とする場合もある。
 4.4 競技者は、わずかであったとしても、装備の損傷または紛失を、艇を乗り換える際または艇を着岸後、直ちにレース委員会に報告しなければならない。この指示違反のペナルティーは、競技者がこれに従うために明らかな努力をしたとジュリーが納得した場合を除き、直前のレースを失格とする。
 4.5 艇が損傷した場合の修理費用は選手が負担しなければならない。

5. 陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は、大会本部のポールに掲揚される。
 5.2 AP 旗が、陸上で掲揚された場合、レース信号 AP 旗の「1分」を「30分以降」と置き換える。

6. レース日程 レース公示に記載。

7. クラス旗 クラス旗は、O'pen BIC 旗を用いる。

8. レース・エリア 付属図 A(レース・エリア)にレース・エリアの位置を示す。

9. コース

- 9.1 コース
 付属図 B(コース)は O'pen Cups 中に予測されるコースの形態を示している: speed(スピード)、speed slalom(スピード・スラローム)、O'pen Cross(オープン・クロス)(必須の 360°回転、転覆、フリースタイル動作を含む)、または異なる場所を結ぶ adventure races(冒険レース)。
 これらのコースは単なる例であり、各レースの最終的なコースは当日、艇長会議において指示する。
 9.2 冒険レースを除く各レースは、フリートの間が 20-25 分でフィニッシュするコースを予定する。

10. マーク

- 10.1 すべての回航マークはイエローの球形ブイである。
- 10.2 スタート・マークは、スターボードの端にあるレース委員会信号艇とポートの端にあるグリーン^(緑)の球形ブイである。
- 10.3 フィニッシュ・マークは、レース委員会艇とグリーン^(緑)の球形ブイである。

11. スタート

- 11.1 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ^(黄)旗を掲揚しているポールとポートの端にあるスタート・マークの間とする。
- 11.2 スタート信号の 4 分より後にスタートする艇は、「スタートしなかった(DNS)」と記録する。この項はRRS付則 A4 を変更している。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上にオレンジ^(黄)旗を掲揚しているポールとフィニッシュ・マークの間とする。

13. タイム・リミット

先頭艇がRRS規則 28 に定めるコースを帆走してフィニッシュ後、10 分以内にフィニッシュしなかった艇は、「フィニッシュしなかった(DNF)」と記録する。この項はRRS規則 35、付則 A4、A5 を変更している。

14. ペナルティー・システム

- 14.1 抗議は受け付けない。O'pen BIC Cupでの抗議は水上で解決し、審問をプロテスト・ルームでは行わない。
- 14.2 オン・ザ・ウオーター・ジュリーは“ペナルティー旗(黄色旗)”を採用する。
- 14.3 規則に違反したと現認された艇は、セール番号を特定され、ペナルティー旗を示され、その艇は、できるだけ早く他艇から十分に離れたのち、ペナルティー回転を行わなければならない。ペナルティー回転は、同一方向に一回のタックと一回のジャイブを含む回転(1回転ペナルティー)を速やかに行うことである。最初の安全な機会に、このペナルティーを履行しなかった場合、その艇はそのレースで失格となる。
- 14.4 規則の繰り返しの違反、またはジュリーに“危険”とみなされるセーリングは、レガッタから排除される結果となることもある。
- 14.5 もしルールについてはっきりとわからないか、説明してもらう必要がある場合、セーラーは、実際のレースが進行している外側でいつでも、ジュリーに近づいてもよい。ジュリーの判決は最終である。
- 14.6 真に公正な競技精神のもとに、セーラーは自身でセーリングを制御することを求められている。すなわち、もし艇が規則の一つに違反したとわかったならば、違反がジュリー・ポートに見られたかどうかに関係なく、ペナルティー回転するのがよい。
- 14.7 本項は、RRS規則44、60.1、63.1を変更している。

15. 各シリーズの得点

- 15.1 各シリーズが成立するためには、1 レースを完了することを必要とする。
- 15.2 各シリーズの得点は、4 レース以上完了した場合、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。この項はRRS 付則A2を変更している。

16. 「World Cup 日本代表認定基準」・「Japan O'pen BIC Cup ウイナー決定」および「World Cup 招待派遣選手選考基準」

レース公示に記載。

17. 安全規定

- 17.1 海上にいる間、競技者は個人用浮揚用具(ライフジャケット)を着用しなければならない。この項はRRSの第4章前文および規則 40 を変更している。
- 17.2 レース委員会および/またはジュリーは、レース艇が帆走不能もしくは危険な状態にあると判断した場合には、艇にリタイアを命ずることがある。この措置に対する救済要求はできない。この項はRRS規則 62.1(a)を変更している。

18. 装備の交換

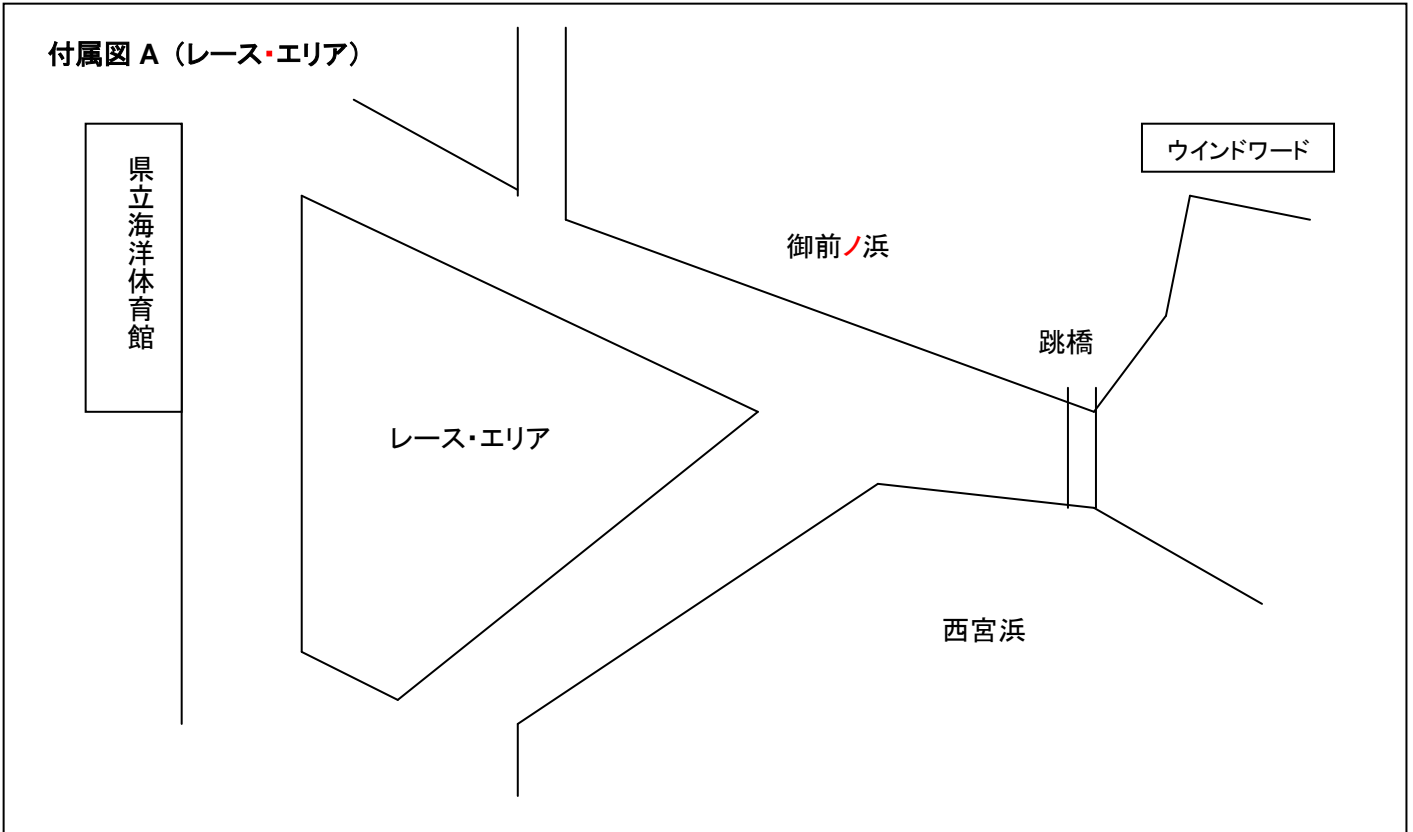
損傷または紛失による装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可しない。交換の要請は最初の適当な機会にレース委員会に行わなければならない。

19. 賞

各シリーズの上位者に賞状および賞品が与えられる。

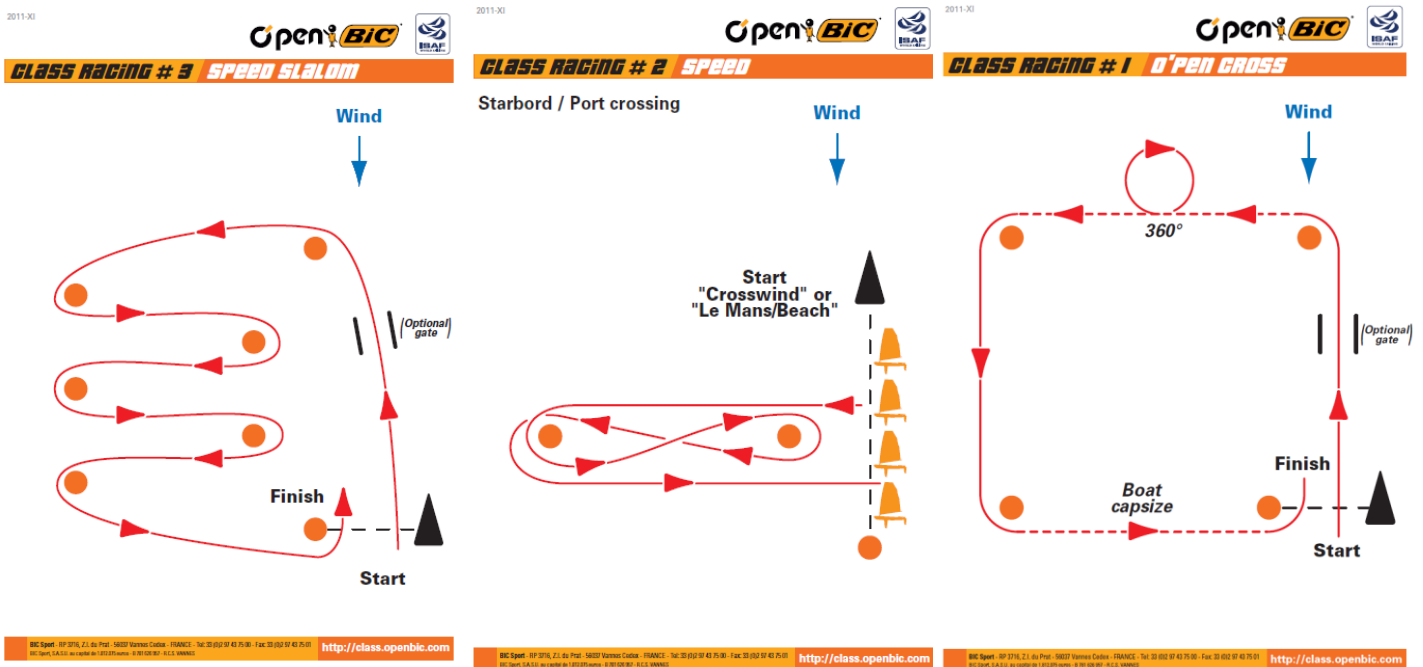
20. 責任の否認

このレガッタの競技者は、完全に自分自身の責任で参加する。RRS規則 4(レースをすることの決定)参照。主催団体並びに委員会は、大会前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。



指示 9.2 の冒険レースのエリアおよびコースは、シリーズ各日の艇長会議にて示す。

付属図 B (コース)



2011-XI

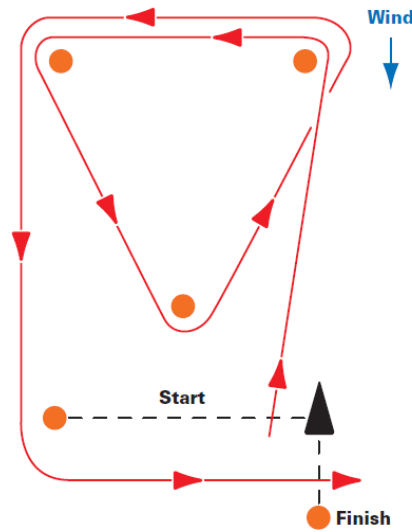
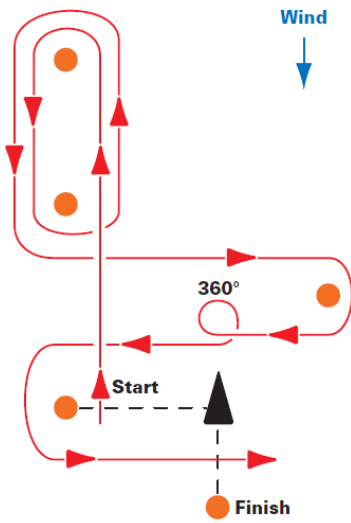


2011-XI



CLASS RACING # 4

CLASS RACING # 5



BIC Open: 07-2751-21 (in Fax) 0607 Nishino Club, FRANCE. Tel: 03-6579-4759 Fax: 03-6579-4758 <http://class.openbic.com>

BIC Open: 07-2751-21 (in Fax) 0607 Nishino Club, FRANCE. Tel: 03-6579-4759 Fax: 03-6579-4758 <http://class.openbic.com>

協賛

